

国見の輝き人

国見町商工会青年部員の齋藤規矩雄（有限会社サイトウホーム）さんにインタビューしました。齋藤さんは、4月に開催された「商工会青年部主張発表大会」県北大会で、『国見町希望の光プロジェクト2020』をテーマに発表を行い、最優秀賞を受賞しました。

今後は県北地区の商工会青年部代表として県大会に出場し、上位入賞が期待されています。



きくお
齋藤 規矩雄 さん
(第8)

～国見町で活躍する人を紹介～

vol.19

一商工会青年部主張発表大会とは

商工会青年部で経験したことや学んだこと、みなさんに伝えたいことを主張（発表）する大会です。自分が所属している商工会は、仲間たちとこんな活動をしているんだということを他の商工会にPRする場でもあります。

一県大会に向けた抱負をお願いします

本来であれば、昨年の県大会に出場する予定でした。しかし、コロナ禍によって県大会が中止となり、約2年待った県大会です。リベンジを果たすつもりで、全力を尽くしたいと思います。

一自身の今後について（抱負や町に対する思い）

これからの時代はコロナ禍への対応も含め、さまざまな課題に立ち向かわなくてはならないと思っています。新しいことにどんどん挑戦していくことも必要だと思います。ですが、一番難しいことは「現状維持」だと考えています。先代が築いてきたことを守り、維持発展させていくことに対しては大きなプレッシャーもあります。生まれも育ちも国見町の私にとって、町に根付いた形での「現状維持」を第一の目標として頑張っていきたいと思います。

町長コラム



ま
真 ころむ

【第1回】

800年間の思いを受け継いだ私たちが1000年後の人たちへ思いを伝える

7月10日午後7時、下二重堀地区に完成した「あつかし千年公園」がライトアップされました。藤原泰衡が一族の矜持と地域愛をかけて築いた防塁は、800年間この地にあり続けました。私たちのこの防塁は、「元寇防塁」や「水城防塁」と併せ、日本三大防塁に挙げられます。その誇りは昭和56年3月、当時のたくさんの人の思いと努力で、国史跡に指定されました。これは、この地に暮らした先人たちが「二重堀」と呼んで親しみ、愛し、守り、私たちに残してくれたからです。

そして私たちは今、1000年後にこの地に暮らす人たちに向けて、今の私たちの思いや願いを込めて整備した「あつかし千年公園」を贈ることとしました。

中尊寺ハスの咲き誇る今、この公園が防塁とともに皆に愛され、親しまれますように…。

引地 真

